

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年05月31日

計画の名称	都市公園の長寿命化と安全安心なまちづくり											
計画の期間	平成29年度～令和02年度(4年間)											
交付対象	重点配分対象の該当											
計画の目標	勝央緑地公園は、昭和57年から供用を開始している施設が多く、老朽化の進行が著しい。今後、多くの施設が処分制限期間を迎えることから、利用者の安全・安心と利便性の向上のため、計画的に施設の更新・再整備を行っていく必要があり、公園施設の長寿命化対策により、公園機能の保全を図りつつ、公園の利用促進を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	505	A	505	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					H29当初			R2末
1	公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に公園施設の補修、更新、再整備を実施し、公園機能の保全を図る。（計画期間最終目標値100%） 長寿命化計画に基づき、（計画期間中に補修、更新、再整備した施設数）／（計画期間中に補修、更新、再整備が必要な施設数）×100 長寿命化計画に基づき、（計画期間中に補修、更新、再整備した施設数）／（計画期間中に補修、更新、再整備が必要な施設数）×100	0%	%		100%			
2	年間の公園利用者数を22,140人から26,000人に増加させ、公園の利用促進を図る。 年間の公園利用者数を22,140人から26,000人に増加させる。	22140人	人		26000人			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靭化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

産業建設部にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和3年度

公表の方法

勝央町ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設の改修を行うことで、住民が安全安心に利用できる公園施設を充実させた。 。
-----------------------------	---

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
----------------------------------	--

○特記事項（今後の方針等）

公園施設長寿命化計画を再度策定し、老朽化した公園施設の改修・更新を行い、安全に幅広い世代の方が利用できる都市公園づくりを推進する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	補修、更新、再整備した施設数の割合	
	最終目標値 100%	
2	公園利用者数の割合	
	最終目標値 26000人	令和2年度末時点では多目的グラウンドが未供用であることに加え、新型コロナウイルスの影響で利用できない施設もあったことから公園利用者数が大幅に減少した。令和3年度5月に多目的グラウンドの供用を開始したことで、令和3年度末時点で利用者数は17,492人となる。さらに、新型コロナウイルスの影響が徐々に緩和され、令和4年度末時点で利用者数が25,915人となった。令和5年度9月末時点での利用者は14,320人であり、令和5年度末には28,000人を超える利用者が見込まれる。